

ESD（持続可能な開発のための教育）

～ESDを通して「Global Welfare（地域・国際社会の中でよりよく生きる）」を目指します～
池田高校が取り組むESD（持続可能な開発のための教育）の全体像



岐阜県では、平成26年度から5年間の教育振興基本計画である「第二次岐阜県教育ビジョン」において、「高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる『地域社会人』」を育てることを基本理念とし、重点施策「中長期的な将来を見据えた高等学校の改革」の中で、「ふるさと岐阜県を支える『地域社会人』として、地域で活躍できる能力や技術を育成します。そのために、小・中・高等学校の連携や地域の教育資源の活用など、地域社会との共生を通して成長できる教育環境をつくり、地域への人材還元を目指します。」との方向性を示しました。

池田高校は、高校の教育方針及び県の教育振興計画、地域の期待、これまで取り組んできた様々な教育活動等の成果等を踏まえ、「Global Welfare（地域・国際社会の中でよりよく生きる）」をテーマに、以下の3テーマを基幹とする ESD の拠点校（ユネスコスクール）として、地域の持続可能な発展に貢献していきます。

（1）福祉教育

教育課程の中に福祉教育を組み込むとともに、地域でのボランティア活動や、保育園・小中学校・特別支援学校・福祉系専門学校との連携による活動を通して、人を思いやる心や感謝する心など、福祉マインドを育み、将来の地域を支える社会人としての資質を育みます。



介護施設のご老人を池田町のイベントに案内する池田高生



池田保育園の運動会にボランティア参加する池田高生

(2) 国際理解教育

コミュニケーションを重視する授業や国際交流活動を通して、他人と連携し協調する能力、プレゼンテーションの技術等を学ぶとともに、国際的な視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材を育てます。



ライオンズクラブ英語スピーチコンテスト入賞
副賞：マレーシア研修



池田町英語スピーチ発表

(3) 環境教育

地域の豊かな自然環境を保護する活動を通して、自然を大切にする心を育てるとともに、地域の課題を解決するために、自ら進んで取り組むことのできる能力や態度を育てます。



科学部：ハリヨの生息調査に参加



池田高校校舎と脇を流れるホテルの住む東川